

授 業 科目名	【 G 】 【 H 】	法哲学Ⅱ 法哲学Ⅱ	区 分 選 択		開講年次	【 G 】 3 【 H 】 3	単位数	【 G 】 2 【 H 】 2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	現代の諸問題を法的観点から考察する				担当者	大上 尚史		
授業概要	【概要】	法哲学Ⅱでは、現代社会が抱える諸問題を法的観点から検討します。具体的には、プライバシー権や環境権といった新しい権利は保障されるべきか、動物や植物にも権利を認めることができるか、死刑制度は刑罰目的の実現に貢献するか、中絶する権利はどのように基礎づけられるか、貧困・格差問題を解消すべき義務はあるかなどの問題について、その根底に潜む法哲学的問題を考察していきます。						
	【到達目標】	①各種の問題についてどのような賛成意見、反対意見があるか、判例がある場合にはそれがどのような立場であるかを説明することができる。 ②各種の問題を法哲学の知識を駆使して、分析し、自分の意見を説明することができる。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		◎（よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－（当てはまらない）					
他科目との 関連性	法哲学Ⅰと合わせて履修すると、法哲学をより体系的に理解できます。							
教科書	深田三徳・濱真一郎編著『よくわかる法哲学・法思想』（第2版、ミネルヴァ書房、2015年）							
参考書	授業中に、適宜、資料を配布します。							
評価方法	授業中に実施するリアクションペーパー(50%)と学期末レポート(50%)によって総合的に評価します。							
フィードバック 方法	リアクションペーパーで受け付けた質問等については、次回授業時冒頭に回答します。 学期末レポートは、採点・評価後に解答ポイントについて解説します。							
評価基準	上記授業の内容について、これを良く理解し、適切に表現できた者には「A」（うち特に優れたものには「S」）を、授業の内容についての理解や表現に不適切な点がある者には、その程度に応じて「B」または「C」を、授業の内容についての理解自体が不十分な者には、その程度に応じて「D」または「E」を与えます。 学期末レポートが未提出である等、評価不能の場合には「F」とします。							

授 業 科目名	【 G 】	法哲学Ⅱ	区	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	法哲学Ⅱ	選 択		【 H 】 3		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	現代の諸問題を考える意義						
	予習：	教科書160-161頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
2	権利(1)人権						
	予習：	教科書162-163頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
3	権利(2)動物の権利、自然の権利						
	予習：	教科書164-165頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
4	犯罪と刑罰(1)罰すべき行為について						
	予習：	教科書168-169頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
5	犯罪と刑罰(2)刑罰の目的について						
	予習：	教科書168-169頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
6	積極的差別是正措置(1)制度的、構造的差別について						
	予習：	教科書166-167頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
7	積極的差別是正措置(2)多様性について						
	予習：	教科書166-167頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
8	科学技術の発展と法的問題:AIを中心に						
	予習：	AI技術の発展が社会に与える影響について調べる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
9	国際紛争						
	予習：	教科書176-177頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
10	南北問題(1)貧困問題						
	予習：	教科書182-183頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
11	南北問題(2)気候、環境問題						
	予習：	世界どのような環境問題が起こっているかを調べる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
12	人工妊娠中絶、遺伝子診断						
	予習：	教科書188-189頁、192-193頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
13	安楽死、尊厳死						
	予習：	教科書196-197頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
14	臓器移植、クローン技術						
	予習：	教科書194-195頁、198-199頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習：	予習時の疑問点が解決できたか確認する。(120分)		
15	総括(学期末レポートの講評を含む)						
	予習：	法哲学Ⅱを学んで生じた疑問をまとめておく。(90分)		復習：	質疑応答を通して理解したことをまとめる。(90分)		
その他	授業中の私語が著しい場合や他の受講者の迷惑となることをしている場合には、退室をお願いすることがあります。 授業の予習復習以外に、レポート作成のための授業外学習が必要となります。主体的な姿勢での取り組みを望みます。						